



☆本紙のカラー版をホームページ「本郷ふじやま公園」にてご覧いただけます

★★★ わんこソーメン流しで盛り上がり！ ふじやまの七夕祭り ★★★

今年は例年より10日ほど早く梅雨入り宣言が出されました。雨がしとしと降り鬱陶しい、湿度が高くて食欲が無い・・・とあまりいいイメージが無いこの季節ですが、どうも今年はカラ梅雨模様？そんな天候にもかかわらず、紫陽花や花菖蒲は雨を待つかのように鮮やかな青紫の花をつけ始め、公園全体がしっとりとした雰囲気になってきました。

梅干づくりのための梅の実もぎも何年かぶりにさわやかな天気の中で行われ、すぐに塩漬けに。梅酢が上がってくるようになるとまもなく七夕の季節が到来します。



★ 公園では、7月2日(火)から7日(日)までの七夕祭りの期間中、来園者の皆さんに短冊を取り付けてもらえるよう、古民家の縁側に笹竹を立て掛けます。皆さんも日ごろからそっと心に秘めていることを短冊に書き、星空に祈ってみたらどうでしょうか。短冊に書いた目標に向けがんばっている姿を、彦星や織姫星がやさしく見守ってくれ、願い事をかなえてくれるに違いありません。



★ 七夕祭りのメインはなんと言っても、最終日の7日(日)に行われる「わんこソーメン流し」です。スタッフが一生懸命作った大きな青竹の上を流れるわんこソーメンをお腹一杯食べたことや、同時に行われる輪投げや竹細工のことを、ふじやまの初夏の風物詩として、いつまでも心にとどめていただけることを願っています。

わんこソーメン流し(雨天中止)

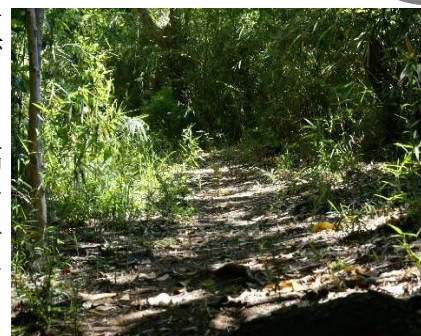
7月7日(日) 11時から12時(先着150名)

食券200円、10時から販売



園内にはいろいろ名前のついた散策路がある。自然の山に入ったように、電線も工作物も見えなくて、まるで時代劇の街道に入り込んだような気分になるところもある。欧米では誰もいない野道や山道を歩く「カントリーウォーク」が盛んだ。ストレスのたまった現代人が、山里を歩き心身を癒し、元の自分を取り戻すのだという。

そんなビタミン剤のような存在が園内の散策路。中でも公園の最高峰、富士塚から鍛冶ヶ谷竹林へと続く「孟宗竹のみち」や、弓道場を取り巻く形に降りていく「小笹のこみち」がいい雰囲気。カントリーウォークは、欧米の人だけでなく、日本人の心を呼び起こしてくれそうなのだが、同じ歩くのなら、正しい歩き方で。足を引きずらない、かかとから着地、まずは意識だけでもこの2つを忘れずに。



10周年記念誌「本郷ふじやま公園のあゆみ」が刊行されました

「いろり塾」からスタートして、今年10周年を迎えた本郷ふじやま公園。

公園は、里山の活用と江戸時代の古民家を保全しながら、ふるさとの歴史や文化を学び、市民が憩い集う場として、多くのボランティアの力で作られてきた歴史があります。

ここに、公園の成り立ちから各部会・グループの活動の歴史、公園で行われている四季の行事・催事を冊子にまとめました。10年に及ぶ歳月の写真は、公園を支えた地域の皆さんの目にも懐かしく感じられることでしょう。

6月下旬には、行政機関、図書館などでご覧いただけます。

今年もグリーンサポーター活動が行われました

栄区では、緑地の持続的かつ適切な管理のため、愛護会と企業や学校の連携を支援するグリーンサポーター制度を設けています。本郷ふじやま公園での活動は竹林の間伐を行ってきましたが、今年も5月17日、栄区に本社を置く人工サファイアのトップメーカーである(株)信光社のみなさんが作業を行いました。当日は信光社から23名、区役所から2名、里山部会から12名が参加し、100本以上の竹を切りました。信光社の皆さんは3分の1が新入社員で栃木県の工場からも参加があり、女性も8名いました。慣れない作業でしたが、自然の中で作業は楽しかったとのことでした。お疲れさまでした。



古民家Q&A <前庭>



Q：古民家の前庭の役割は？

A：庭は一般に屋敷内にある外部空間をさし、現代では樹木や草花を植えたりして、石や池などを配して住む人の安らぎの場として利用されています。しかしかつては特に農村において、主屋の前の庭(前庭)は農作業を行う場所でした。稲穀などの収穫物の脱穀・乾燥・調製・選別などの作業場であり、むしろなどの乾燥や農具類の整備・修理の場所でした。また、新年を迎える餅つきや端午の節句の鯉のぼりたてるなど年間の行事を執り行う場所でもありました。名主屋敷にあっては年貢米の受入れ、一時保管や搬出準備の公の場所でもありました。

現在の旧小岩井家住宅の復元後の前庭は約25m四方で旧屋敷地の庭面積の約2.5倍になっています。これは公園としての各種の行事を考慮したことによります。

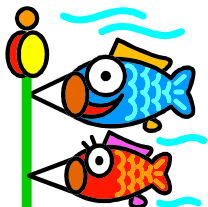
なお、関東や沖縄を除いた地域では屋内の土間をニワと呼ぶことがあります。



10周年プロジェクトニュース

10周年プロジェクト後半の記念行事として古民家において、夏から秋にかけスケッチ作品展と大茶会が行われます。開催に向けて関係者が準備を進めています。

ボランティア相互の懇親会が、6月5日(水)リリース1Fメルヘンに於いて、会費制で開催されました。当日は、江戸時代の富くじを模した「くじ引き」もあり、楽しい集いになりました。



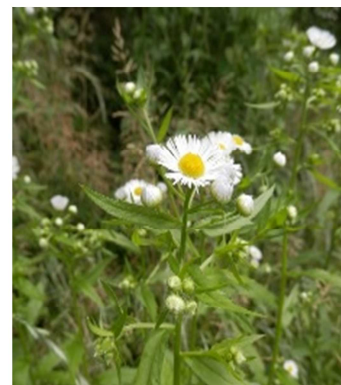
「いろいど雑記」から(原文のまま)

きょうはかぞくでたけのこほりです。
たのしかった。
こいのぼり、すごかったなあ…

ふじやま公園の植物

ヒメジョオン キク科

北アメリカ原産の帰化植物。日本には明治初期に渡来、今では全国的に分布し野原や道端など様々な立地に生える。秋に芽生えてロゼットを形成しそのまま越冬する。その間、刈り込みや踏みつけられても春先には急激に生長する。初夏から花茎を伸ばし開花する。直立した茎の内部にはズイが詰まり上部に分布して高さ30～150cm程に生長する。葉は卵形でまばらに鋸歯があり、茎と葉の縁には荒い毛が生えている。晩秋、冠毛の付いた種子は風に飛んで拡散される。キクの花に似た小さな白い花は公園の散歩みちを白く染める。



25年7月度ボランティア活動予定

部会・事項	日程	部会・事項	日程
事務局会議	5日(金)	古民家歴史部会 部会	14日(日)
農芸部会 部会	18日(木)	古文書解説勉強会	7日(日) 28日(日)
作業	月曜日 木曜日	歴史探訪	4日(木)
里山部会 作業	13日(土) 20日(土) 28日(日)	囲炉裏守 囲炉裏焚き	当分の間 休みます
工作棟部会 部会	10日(水)	クリーンアップ	2日(火) 16日(火)
親子工作準備	適時	ふじやまだより編集会議	6日(土)
ホームページ制作打合せ	6月29日(土)	印刷	13日(土)

登録ボランティアを募集しています。公園事務所(TEL 896-0590)へご連絡下さい。

体験教室のお知らせ

奮ってご参加ください。お待ちしております。

教室名	日 時	内 容	参加費	応募期限
親子工作 (ユラユラ こぼし)	7月21日(日) 10時～12時 " 13時～15時	半竹と紙人形で作る (低学年向け)	無料	受付:当日 10時～11時 13時～14時 各先着12名
里山 そば打ち塾	7月27日(土)10時～12時	初心者大歓迎 美味しいそばを打てます 自分で作った物の試食 持ち帰りがあります	800円	7月20日(土) 6名
布ぞうり作り	8月 23日(金)10時～15時	一日で一足完成します	500円	7月31日(水) 12名

(1)応募要領：往復はがきに、教室名、氏名（ふりがな）、郵便番号、住所、電話番号を書いて
応募期限までに本郷ふじやま公園へ

(2)応募者多数のときは抽選 (3)持参品：返信はがきで連絡します。

・・・お知らせ・・・

★ 『体験教室』ボランティア講師を募集します

本郷ふじやま公園では工作棟が設けられ、約20の体験教室があります。

多くの市民のみなさんが“手づくり”の楽しみに参加されています。

工作棟では体験教室を指導していただける方を募集しています。条件などは次の通りです。

○道具は当方で用意します。

○参加費は受講者の方から材料費のみ徴収します。

○特に篆刻の講師を募集しています。

○興味のある方は公園管理事務所にお問合せください。



★ 『小岩井家文書 村政編』を頒布しています

本紙4月号で紹介した小岩井家文書の釈文集を頒布しています。これは江戸時代後期の鍛冶ヶ谷村の様子やペリー来航時の村人の活躍などを読取ることが出来ます。

1冊2,000円です。公園管理事務所にお問合せください。

★ ホームページ制作に興味のある方、参加しませんか

ふじやま公園のホームページは部会員有志が制作しています。興味のある方、まずは月1回の制作打合せを見学して下さい。打合せの日程は本紙第3面にあります。

★ 5月ふじやま公園来園者数 2,579名 25年度累計 4,625名

・開 館 時 間：	9時～17時
・入 館 料：	無 料
・休 館 日：	7月3日(毎月第1水曜日)
・ク リ ー ン ア ッ プ：	7月2日(火)、16日(火) 10時～11時 一斉清掃

★ 本郷ふじやま公園運営委員会

〒247-0009 栄区鍛冶ヶ谷1-20 TEL：896-0590 FAX：896-0593